

KANDA

HOLDINGS

第**105**期事業報告書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、お客様と共に繁栄します。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの平成30年3月期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

● 当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用状況が緩やかに回復しているものの、米国の経済政策等の動向や一部地域における地政学的リスク等により、景気の先行きは、引き続き不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましては、取扱量の減少が継続し、ドライバー等人手不足の影響や燃料価格上昇など、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、国内部門においては、主力業務であります物流センター業務代行、流通加工業務に注力し、新規顧客の獲得に向け努力してまいりました。また、引き続き全ての不採算営業所を黒字化すべく「業績改善運動」に全社的に取り組んでまいりました。平成30年3月には、受託業務量の増加に対応すべく埼玉県加須市に「加須豊野台物流センター」を竣工いたしました。また、「働きやすい職場作り」の観点から、事業所内保育所「ラビット保育園」を岩槻物流センターと加須豊野台物流センター内に開園。引き続き新設物流センターを中心に、事業所内保育所を順次開園する方針です。

国際部門においては、株式会社ペガサスグローバルエクスプレスとニュースターライン株式会社を核として、業務拡大に努めてまいりました。平成29年5月には当社の連結子会社でありますPT.Pegasus Global Express Indonesiaが、国際海上貨物に強みを持つPT.JAPAINDO INTERTRANS PRIMAを吸収合併し、新体制による営業を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の連結営業収益は、平成29年3月に子会社化した株式会社中村エンタープライズの業績もフルに寄与し409億26百万円（前期比4.5%増）となりました。前期計上した既存物流施設の大規模修繕費用が減少したこと等も影響し、連結営業利益は、18億31百万円（前期比13.0%増）、連結経常利益は、18億13百万円（前期比5.9%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、10億66百万円（前期比9.3%増）となりました。



代表取締役社長
勝又 一俊

● 次期の見通しについて

今後のわが国経済状況は、米国の経済政策等の動向による影響や一部地域における地政学的リスク等により、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いていくものと予想されます。

物流業界におきましては、取扱量の減少傾向が継続し、ドライバー等人手不足の影響や燃料価格上昇、更に規制緩和による競争激化、安全規制の強化、環境問題への対応等取り巻く経営環境は依然、厳しい状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当社グループは経営戦略に基づき、積極的に新規業務を獲得し、業容の拡大を図ってまいります。

具体的には、

①全ての不採算営業所を黒字化し、更に拠点毎の収益率の改善を図るべく「業績改善運動」に引き続き取り組んでまいります。

また、商圏の拡大を含め、新規の事業領域への参入を図るべく新たな物流センター建設やM&Aについても引き続き積極的に検討を進めてまいります。

②国際部門は、引き続き株式会社ペガサスグローバルエクスプレスとニュースターライン株式会社を核とし、従来の国際宅配便とフォーディングの二本柱に加え、新たにEC事業にも注力し国内外一体となって国際事業の業務拡大を図ってまいります。

以上の方針等により、通期の業績につきましては、連結営業収益429億円（前期比4.8%増）、連結営業利益は19億円（前期比3.7%増）、連結経常利益は18億80百万円（前期比3.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は11億10百万円（前期比4.1%増）を予定しております。

● 配当金について

当社グループは、株主への利益還元を重要な経営課題と認識し、業績動向等を勘案したうえで安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。また、内部留保につきましては経営基盤の確立、収益力向上のための原資として活用していく予定であります。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり12円とさせていただき、既にお支払いしている中間配当金12円と合わせ年間では24円とさせていただきました。

次期の配当金につきましては1株当たり中間配当金12円、期末配当金12円とし、年間配当金は1株につき24円とさせていただく予定であります。

連結財務ハイライト

営業収益



経常利益



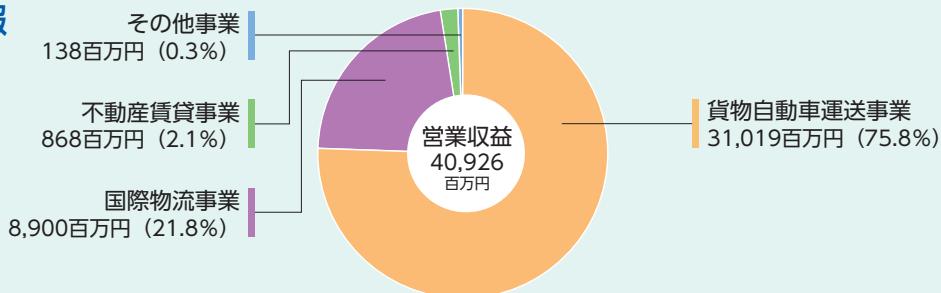
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産／自己資本比率



セグメント情報



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,924	13,103
固定資産	25,685	23,337
資産合計	39,610	36,441
負債の部		
流動負債	12,232	10,786
固定負債	10,900	10,123
負債合計	23,132	20,909
純資産の部		
株主資本	16,050	15,241
その他の包括利益累計額	377	258
非支配株主持分	50	31
純資産合計	16,477	15,531
負債純資産合計	39,610	36,441

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
営業収益	40,926	39,171
営業原価	37,050	35,712
営業総利益	3,875	3,459
販売費及び一般管理費	2,044	1,838
営業利益	1,831	1,620
営業外収益	117	200
営業外費用	136	108
経常利益	1,813	1,712
特別利益	75	18
特別損失	79	75
税金等調整前当期純利益	1,808	1,655
法人税、住民税及び事業税	685	635
法人税等調整額	55	43
当期純利益	1,067	976
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,066	975

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,669	3,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,727	△2,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	637	△1,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△419	211
現金及び現金同等物の期首残高	3,455	3,243
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,239	3,455

連結株主資本等変動計算書

当期 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計	
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	1,772	1,629	12,170	△330	15,241	267	4	△12	258	31	15,531
当期変動額											
剰余金の配当			△258		△258						△258
親会社株主に帰属する当期純利益			1,066		1,066						1,066
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						125	△12	5	118	18	137
当期変動額合計	—	—	808	△0	808	125	△12	5	118	18	945
当期末残高	1,772	1,629	12,978	△330	16,050	393	△8	△7	377	50	16,477

新物流センター

東北道・圏央道へ好アクセス 加須豊野台物流センターがオープン



【建物概要】

所在地 埼玉県加須市豊野台一丁目471-6
 建物構造 鉄骨造 3階建て
 延床面積 15,123.82㎡ (約4,575坪)
 設備 LED照明、空調設備、エレベータ2基、
 垂直搬送機 2基
 事業内保育所
 竣工日 平成30年3月20日

東北道加須ICから3kmの地に新たな物流センターが竣工しました。新物流センターはカンダグループの株式会社ロジメディカルが物流拠点として全棟を使用し、近隣に分散している物流業務の集約・効率化を図ると共に、新たな業務を獲得して更なる業容の拡大に取り組んでまいります。また、同物流センターには、岩槻物流センターに続いて事業所内保育所「ラビット保育園」を設置いたしました。当社は、働きやすい職場作りの観点から、引き続き新設物流センターを中心に事業所内保育所の開設を方針としてまいります。



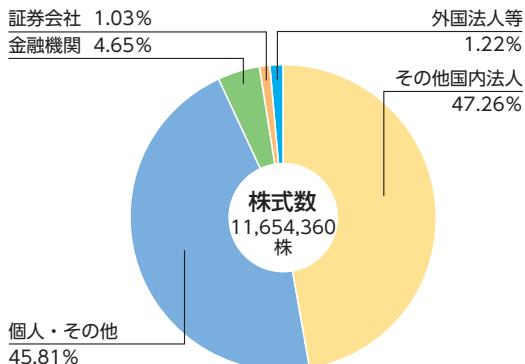
株式の状況

(平成30年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 38,000,000株
- 発行済株式の総数 11,654,360株
- 株主数 4,208名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社原島不動産	3,945	36.65
カンダ従業員持株会	508	4.72
株式会社三井住友銀行	409	3.80
原島藤壽	349	3.24
株式会社原島本店	348	3.23
カンダ共栄会	335	3.11
原島 望泰	322	2.99
高橋 彰子	223	2.07
三菱ふそうトラック・バス株式会社	133	1.23
MSIP CLIENT SECURITIES	128	1.19

(注) 1. 上記のほか、当社所有の自己株式891千株があります。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。



会社概要

(平成30年3月31日現在)

会社概要

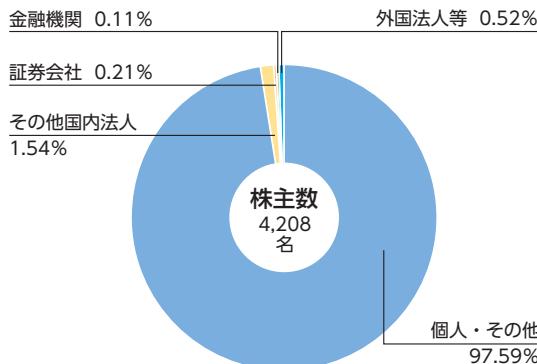
商号 カンダホールディングス株式会社
 本店所在地 東京都千代田区東神田三丁目1番13号
 本社事務所 東京都北区浮間四丁目22番1号
 創業 昭和18年11月
 資本金 17億7,278万4,000円
 従業員 連結 2,316名

役員

(平成30年3月31日現在)

代表取締役社長	勝 又 一 俊
専務取締役	原 島 藤 壽
常務取締役	吉 田 稔
常務取締役	佐 藤 広 明
常務取締役	山 崎 唯
取締役相談役	原 島 望 泰
取締役	加 藤 俊 彦
取締役	中 田 信 哉
常勤監査役	菅 原 洋 利
監査役	真 下 芳 隆
監査役	太 子 堂 厚 子

(注) 1. 取締役の加藤俊彦氏および中田信哉氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の真下芳隆氏および太子堂厚子氏は、社外監査役であります。



(注) 株式数比率・株主数比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 フナネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウジではお取り扱いできませんので ご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.kanda-web.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○配当金計算書について
租税特別措置法により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっています。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

単元未満株式（100株未満）をお持ちの株主様へ

単元未満株式ご所有の株主様へは単元株（100株）への買増が可能となっております。なお、従来どおり単元未満株の買取（当社へ売却）も行っております。

特別口座に単元未満株式をお持ちの株主様は株主名簿管理人（みずほ信託銀行）へお問い合わせください。証券会社等の口座に単元未満株式をお持ちの株主様はお取引証券会社等へお問い合わせください。

株主優待のお知らせ

当社は、株主の皆様のご支援にお応えするために、下記のとおり株主優待をご用意しております。

《優待対象》

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主様に
対し、年に1回贈呈

《優待内容》

- ・保有株式100株以上500株未満
1,000円の図書カード 1枚
- ・保有株式500株以上1,000株未満
1,000円の図書カード 2枚
- ・保有株式1,000株以上2,000株未満
1,000円の図書カード 3枚
- ・保有株式2,000株以上3,000株未満
1,000円の図書カード 4枚
- ・保有株式3,000株以上
1,000円の図書カード 5枚

《贈呈時期》

毎年6月の定時株主総会終了後に発送



21世紀の総合物流企業

カンダホールディングス

東京都北区浮間四丁目22番1号 TEL 03-6327-1811

